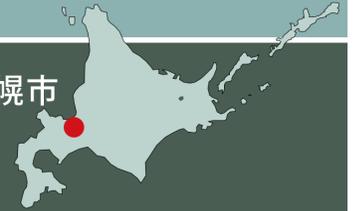


# 北大植物園 (札幌市)

札幌市

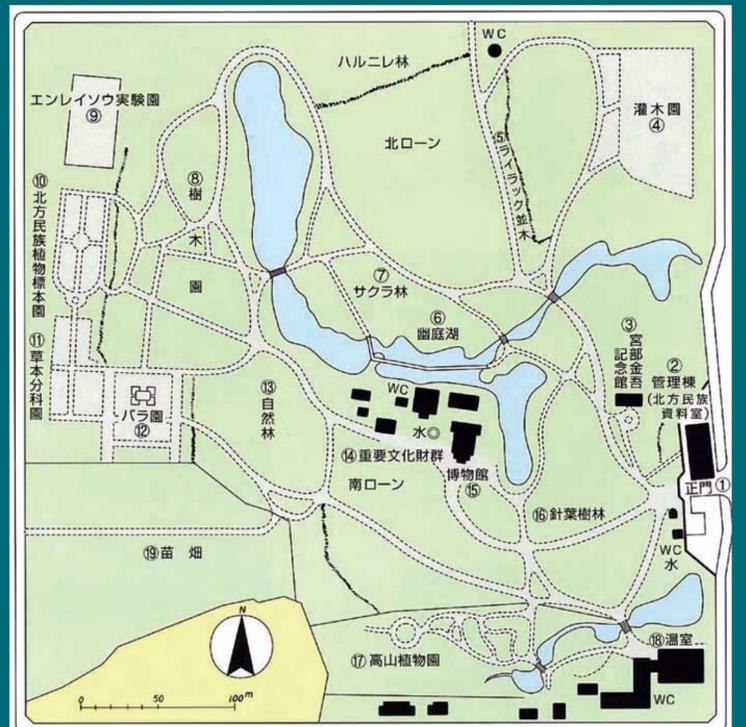


旧植物学教室を利用し整備された宮部金吾記念館

## 市街地の中の貴重な緑

札幌市の中心部に位置する北大植物園は、著名な植物学者 宮部金吾によって設計・整備され、1886（明治19）年に開園、その主要な構成が現在に伝わっている。日本の代表的植物園として、教育・研究に貢献するとともに、古くから一般市民に公開され市街地の中の貴重な緑の空間として親しまれている。設計では、札幌の原地形と風致を活かし、ランドスケープ・ガーデニングの手法が取り入れられた公園的設計としても高く評価される。

（現在正式名は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園となっている。）



北大植物園の平面図

## 概要

名称	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園
所在地	札幌市中央区北3条西8丁目
管理者	北海道大学
規模	13.3ha 約4,000種類の植物
種別等	動植物園
整備年	1886（明治19）年開園

東京大学小石川植物園に次ぐ日本で2番目に古い植物園である



園内は大きな木が生い茂り、都会のオアシスとなっている